

【令和9年4月入学】

島根大学総合型選抜

へるん 入試[®]



あなたの **学びのタネ**

【大学の学びに必要な、特定の領域・事象に対する強い
好奇心や探究心、特定の活動に対する目的意識】を重視します。



人とともに 地域とともに

島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

「へるん入試」の名称の由来

「へるん」とは、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン1850~1904)のことで、ハーンが滞在した松江では、親しみを込めて今でも「へるん」と呼称しています。ハーンは、文学者・新聞記者・民俗学者・英語教師などとして多方面で才能を発揮し、異文化の架け橋となりました。「へるん」の魅力と才能の多様性を、高校生の持つ多様な可能性に重ね合わせました。

「へるん入試」は、高校生の皆さんに、自分らしい学びを主体的につくってこうとする意欲を持ってほしい、そしてその意欲を島根大学での学びにつなげてほしい、との願いから生まれました。



小泉八雲(パトリック・ラフカディオ・ハーン(へるん) 1850~1904)

(小泉八雲記念館 提供)

あなたの **学びのタネ**

【大学の学びに必要な、特定の領域・事象に対する強い好奇心や探究心、特定の活動に対する目的意識】を重視します。

キーワードは「学びのタネ」

高校生の皆さんが持っている好奇心と探究心を「**学びのタネ**」と名付けました。

日々の学習の中で、「面白いな、もっと深く学んでみたいな」と、教科の内容の豊かさに心動かされたことはありませんか。「本当にそうだろうか、もっと違う考えがあるんじゃないか」と、違和感や疑問を感じたことはありませんか。身近に困ったことがあって、「どうすれば解決できるのだろうか」と、課題を解決したいと思ったことはありませんか。



感動、違和感、疑問、課題意識、貢献意識・・・、これらはぜんぶ「**学びのタネ**」です。

教科の授業や総合的な探究の時間、あるいは部活動の中で感動したこと、あるいは疑問に思ったことをきっかけとして学びを深めようとしたこと、解決したい課題の解決策を考え提言し、周囲の協力を得ながら動き出してみたこと、「**学びのタネ**」から何かをやってみたこと、本気で探究したり、夢中になって取り組んだことが、大学の学びにつながるのです。

「**学びのタネ**」は、具体的な資格や、すでに達成された成果に限るものではありません。今はまだ、皆さんの心の中にある志向とか興味といった目に見えないもの、ささやかなものなのかもしれません。しかし、「**学びのタネ**」を育てていくことで、自分の能力や活躍できるフィールドはどんどん深く明確になります。やがて、自分に必要な学びを自分でデザインできるようになり、人生を切り拓く力が蓄えられてくるのです。

そんな皆さんの成長をサポートしたいとの願いが「へるん入試」には込められています。あなたの「**学びのタネ**」を島根大学で育ててみませんか。

※教育学部では、学びのタネとして教職への志向性を求めます。

※教育学部学校教育課程I類において配属される専攻、人間科学部において配属されるコース、総合理工学部において配属される専門分野は、入学後に決定します(総合理工学部のへるん特定型「専門高校入試」を除く)。



へるん入試 が求める学生像

大学の
学びに必要な
基礎的学力を
有する人

特定の学問・
教科や活動に
関心を持ち、
それに継続的に
向き合った
ことのある人

知的好奇心を持ち、
それを主体的・
積極的な探究により
深めた経験の
ある人

他者と協働して
何かをなし、それを
自らの学びに役立てた
ことのある人



入試種別

へるん入試 には、**へるん一般型** と **へるん特定型** の二つがあります。

へ
る
ん
入
試

へるん一般型

へるん特定型

- 1▶ 地域志向入試
- 2▶ 専門高校入試
- 3▶ グローバル英語入試
- 4▶ 芸術・スポーツ入試



試験実施日

令和8年(2026年)11月14日(土)を予定しています。

(志願者数によっては、11月15日(日)も実施する場合があります)



入試方法

① **へるん一般型** は、次の三つにより評価します。▶ **合計280点**

※大学入学共通テストは課しません。

①「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」▶ **配点:80**

②「読解・表現力試験」▶ **配点:100**

③「志望理由書」を用いた「面接」▶ **配点:100**

② **へるん特定型** は、①に加え、それぞれの入試ごとの
「付加評価項目」により評価します。





出願書類

① 調査書

高校の先生に作成して
いただくものです。

② 活動報告書

志願者に記述して
いただくものです。

③ クローズ アップシート

志願者に記述して
いただくものです。

④ 志望理由書

志願者に記述して
いただくものです。

※ **へるん一般型** で、志願者数が募集人員の概ね2.5倍(人間科学部)または概ね3倍(法文学部、教育学部、総合理工学部、材料エネルギー学部、生物資源科学部)を超えた場合、出願書類①・②・③により第1次選考を行う場合があります。

⑤ その他

へるん特定型

では、① ② ③ ④ に加え、その他の書類を課す場合があります。



へるん特定型

「へるん特定型」については、それぞれの入試の特性により、
次のような付加評価項目についても評価します。



1

地域志向入試

地域について強い興味・関心を持ち、地域に
関して学び、卒業後は島根県・鳥取県あるいは
出身の地域に貢献したいと希望する人が対象
です。島根県・鳥取県枠と全国枠(一部学部で
のみ実施)があります。教育学部は、島根県
または鳥取県の教員として活躍することを希望
する人を対象に、島根県枠と鳥取県枠を個別に
設けています。

学部	付加評価項目	配点
法文学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	出願書類「地域志向レポート」に 基づいて、地域志向面接(10分)で 地域への興味・関心进行评估します	50点
教育学部	「教職への学びレポート」に基づいて、 地域教員としての活躍を志向した、 学びの経験と構想について評価します	50点

2

専門高校入試

高等学校または中等教育学校の専門教育に関する学科もしくは総合学科で卒業に
必要な単位のうち専門教科・科目20単位以上の修得(見込み)の人が対象です。

学部	学科等	付加評価項目	配点
法文学部	全学科	調査書の専門教科の評定について評価します	10点
人間科学部	人間科学科	10分程度の口頭試問を行います	50点
総合理工学部	先端ものづくり分野	10分程度の口頭試問を行います	20点
	数理データサイエンス・ IT・デジタル分野	・10分程度の口頭試問を行います ・「情報処理技術者」「情報処理安全確保支援士」 の有資格者に加点します	50点
	自然環境・住環境分野	10分程度の口頭試問を行います	20点
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	10分程度の口頭試問を行います	20点
生物資源科学部	農林生産学科	専門教科の評定、及び専門教科に関連する資格・ 検定を加点対象とします	50点
	環境共生科学科		

3 グローバル英語入試

「実用英語技能検定」((従来型の)英検、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewのいずれも可) 2級以上取得、または「GTEC」(検定版(Basic、Advanced)、CBTタイプのいずれも可)930点以上である人が対象です。(対象となる民間の英語資格・検定試験は2024年4月1日以降に受験したものとします)



学部	付加評価項目	配点	
法文学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	出願書類「グローバル英語入試志望理由書」 (英語で記述)に基づき、面接(10分)で英語の 活用能力を評価します	20点	50点
	民間の英語資格・検定試験を以下のように加点します 英検 準1級以上、またはGTEC 1180点以上 30点 英検 2級、またはGTEC 930点以上 15点 ※加点対象にできるのは「実用英語技能検定」または「GTEC」の いずれか一つです。	30点	

4 芸術・スポーツ入試

「保健体育科教育」「音楽科教育」「美術科教育」の三つの分野があります。各分野で秀でた技能を持ち、本学でさらにその技能を深めたい人が対象です。

学部・学科・専攻	付加評価項目	配点
教育学部 保健体育科教育専攻	「実技」として、保健体育における実技の学習に必要な 基礎的運動能力を評価するために、巧緻性、持久力、 瞬発力等に関する共通の試験を行い(100点)、 「スポーツ活動調書」の評価(300点)と総合します。	400点
教育学部 音楽科教育専攻	「実技」として、①専門的な実技力を評価する試験 (400点)・②教職に欠かせないピアノの基礎的な演奏 能力を評価する試験(100点)を行います。	500点
教育学部 美術科教育専攻	「実技」として、描写力、構成力、色彩感覚などを試験して 実技能力を評価するための水彩画の制作を行い、「美術 活動調書」の評価と総合します。	300点

「へるん一般型」と「へるん特定型」

へるん入試には、二つの型があります。「へるん一般型」と「へるん特定型」です。

「へるん一般型」について

「へるん一般型」の求める学生像は、「へるん入試が求める学生像」に示したとおりです。「へるん一般型」の評価は、「書類審査」、「読解・表現力試験」、志望理由書を用いた「面接」によって行います。

「へるん特定型」について

「へるん特定型」では、「へるん入試が求める学生像」に加えて、学習歴や学びたいこと、得意なことに応じて **地域志向入試** **専門高校入試** **グローバル英語入試** **芸術・スポーツ入試** の四つを設けています。「へるん特定型」の評価は、「へるん一般型」の評価項目と「付加評価項目」で行います。「付加評価項目」の詳細は、パンフレットに記載していますので、ご覧ください。

地域志向入試には「島根県・鳥取県枠」と「全国枠」があります。受験生は出身高校の所在する都道府県によって、いずれかの枠で受験します。入学後は「地域人材育成コース」に所属し、学部横断的な教育を受けます。

グローバル英語入試 入学者のうち希望者は、海外からのゲストに英語で島根大学を案内する「島大アンバサダ」に任命されます。

「へるん特定型」と「へるん一般型」の併願について

法文学部、総合理工学部、材料エネルギー学部、生物資源科学部

「へるん特定型」のうち、**地域志向入試** **専門高校入試** 及び **グローバル英語入試** を第1志望とする志願者は併願を希望すれば、「へるん特定型」の合格点に達しなかった場合、「へるん一般型」の選考対象となります。この場合、特定型で評価対象となった「付加評価項目」の得点は、評価対象外となります。

教育学部、人間科学部

「へるん特定型」(芸術・スポーツ入試を除く)の志願者は、「へるん特定型」の合格点に達しなかった場合、「へるん一般型」の選考対象となります。この場合、特定型で評価対象となった「付加評価項目」の得点は、評価対象外となります。



何が問われるのか

へるん入試は「大学入学共通テスト」を利用しません。複数の教科の総合的な達成度によるのではなく、特定の分野や教科への興味・関心を重視します。



1 「へるん一般型」(「へるん特定型」にも共通)

1 「読解・表現力試験」

全学共通問題です。「英語」、「数学」、「国語」などの教科試験ではありません。すべての教科の基本となる読解力・表現力をはかるものです。高校の教科書を読んで理解する力があるか、読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを問うものです。「表現力」といっても、小論文のような文章を読んだうえで自分の意見を長文で記述する形式ではありません。

ホームページに過去問題と出題意図・解答例を掲載していますので、ぜひご覧ください。



CHECK

2 出願書類

調査書

教員が作成する「調査書」により、「学習成績の状況」を評価します。

クローズアップシート

高校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのかについて、振り返って記述してください。「志望理由書」に記載する「**学びのタネ**」に関係があることでも、ないことでもかまいません。800字程度にまとめてください。

活動報告書

高校段階の活動の中で、他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てた経験を、自らの役割を明示して書いてください。ここでの「他者との協働」は、部活や生徒会活動など、学校の活動だけでなく、地域のボランティアなど、学校外の活動でもかまいません。

志望理由書

「**学びのタネ**」と「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」を記述します。「**学びのタネ**」は、40字以内で記述します。簡潔な記述でもかまいません。記載例をホームページに掲載していますので、ご覧ください。

3 面接

個人面接を実施します。「志望理由書」の内容をもとに、各学科や専攻の教員が専門的な知見に基づいて問いかけます。



2 「へるん特定型」

「**へるん特定型**」では、「**へるん一般型**」の①～③に加えて、「付加評価項目」を設けます。

「専門高校入試」、「芸術・スポーツ入試」は、学部・学科・専攻ごとに、「付加評価項目」が異なります。詳細は「募集要項」でご確認ください。



入学前教育（ぷれ大学）



「ぷれ大学」は「へるん入試」で合格した皆さんの入学前教育のシステムです。入学までに次の三つに取り組み、入学に備えます。



・ **へるん入試** は、出願から入学後まで一連の教育サポートを行う、「育成型入試」です。「ぷれ大学」は下の図の真ん中の部分に相当します。

出願前教育 「へるんスクエア」で提供している入試情報・大学情報です。

入学前教育 **ぷれ大学** のことです。
R8.4月入学生用の各学部
課題一覧はコチラ▶



入学後教育 ホームページ「へるんスクエア」
「入学後の教育」をご覧ください。



入学後の教育

- ・ **へるん入試** で合格した皆さんは、4月からそれぞれの学部・学科・専攻で専門の勉強を始めます。これについては、入学時の学部のガイダンスなどで、詳しく聞くことができます。皆さんの学習をサポートするために大学は次の二つを取り入れています。

1 フレッシュゼミナール

「**学びのタネ**」をより伸ばしたり、新たな方向に展開させるために所属する学科・専攻の教員が、1回生のために専門の学問の話をする制度です。

2 スタートアップ・イングリッシュ

大学の必修科目「英語」が不安である。「英語」そのものがあまり得意でない。そんな学生のための英語クラスです。

- ・ 島根大学では2024年度から「クロス教育」がスタートし、領域横断的に学ぶ環境がより整いました。皆さんの知的好奇心、探究心を育むために是非クロス教育にも飛び込んでください。
- ・ **へるん入試** 合格者のうち、**へるん特定型** の **地域志向入試** で合格した皆さんは、専門教育を受けるとともに「地域人材育成コース」で学部横断的に学びます。**グローバル英語入試** で合格した皆さんには、入学後、より実践的な英語力を身につけるための「英語実践力養成プログラム」及びグローバルコミュニケーション能力を高めることを目指す「グローバル・コミュニケーションプログラム」の履修を期待します。



※ここに記載している内容については予定であり、今後変更する場合があります。
出願にあたっては、必ず「募集要項」で確認してください。

へるん  スクエア

へるん入試については、
ホームページ「へるんスクエア」をご覧ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/hearn_square/



「へるん入試」で入学した学生のみなさんの声をご紹介します

へるん  スクエア

入学生からのメッセージ

MESSAGE



「へるん入試」を受験してよかったと思うことは何ですか

● 総合理工学部 | Aさん

事前に調べていた内容だけでなく、その場で自分の考えを整理して答える力も求められていると感じ、緊張しながらも非常に良い経験となりました。試験を通して、大学が学生の個性や思考力を大切にしていることを実感し、改めてこの大学で学びたいという気持ちが強まりました。

MESSAGE

● 生物資源科学部 | Bさん

自分のやりたいことを明確にし、それを言語化することで、自分自身を見つめ直す良い機会となりました。面接では内容について深く掘り下げていただき、自分の勉強不足な点や、自分では気づかなかった視点からの質問に触れることができ、今後の課題を見つけることができました。

MESSAGE



「へるん入試」の受験に必要なことは何だと思いますか

● 法文学部 | Cさん

自分の経験値を高めることです。例えば、一生懸命に何かに取り組む経験や、仲間と協力する経験を少しずつ積み重ねていくことが必要だと感じています。たとえ小さなことでも、そこから得られる学びは、へるん入試の受験に大いに役立ちます。

MESSAGE

● 教育学部 | Dさん

高校時代に参加したボランティア活動やインターンシップは、自分にとって大きな強みとなりました。また、未来探究や社会貢献活動に積極的に取り組んだ経験は、書類作成や面接の場においても必ず活かせると感じています。

MESSAGE

● 人間科学部 | Eさん

自分の将来を具体的に描き、表現できる力が必要だと思います。そして、その実現のために何をやる必要があるのか、積極的に探究していく力も求められると思います。

MESSAGE

● 総合理工学部 | Fさん

志望理由書やクローズアップシートを作成することはもちろんですが、自分の考えを的確に言語化する能力が必要だと考えます。

MESSAGE

● 材料エネルギー学部 | Gさん

大学で自分の学びをさらに深めたいという思いと、自分の強みを面接してくださる先生方にわかりやすく伝えること。

MESSAGE

● 生物資源科学部 | Hさん

自分にしかない経験や実績があると、学びのタネを言語化しやすくなるので、自分ならではの経験を積んでおくことが大切だと思います。

MESSAGE

令和9年4月入学 総合型選抜Ⅰ「へるん入試」募集人員

学 部	学 科	内 訳					
		へるん 一般型	へるん特定型				
			地域志向 (島根県・ 鳥取県枠)	地域志向 (全国枠)	専門高校	グローバル 英語	芸術・ スポーツ
法文学部	法経学科	23	6	6	2	6	
	社会文化学科	13					
	言語文化学科	14					
	小 計	50	6	6	2	6	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	22	20				
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻					3
		音楽科教育専攻					5
		美術科教育専攻					2
	小 計	22	20				10
人間科学部	人間科学科	21	8		3		
	小 計	21	8		3		
総合理工学部	総合理工学科	先端ものづくり分野	91	14	4	7	
		数理データサイエンス・IT・デジタル分野			4		
		自然環境・住環境分野			4		
	小 計	91	14	4	12	7	
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	12	8		3	3	
	小 計	12	8		3	3	
生物資源科学部	生命科学科	22	9	3		3	
	農林生産学科	15			5		
	環境共生科学科	16			7		
	小 計	53	9	3	12	3	
合 計		249	65	13	32	19	10

※教育学部の地域志向入試（島根県枠・鳥取県枠）は地域教員育成型（島根県枠）10名、地域教員育成型（鳥取県枠）10名の合計20名です。



島根大学 教育・学生支援部 入試課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL:(0852)32-6073 FAX:(0852)32-9726

E-mail:epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp